

分科会 駅とまちづくり
(20日 13:00 ~ 於:ならまち振興館)

<分科会 >

駅とまちづくり

奈良まちづくりセンター 副理事長: 桂 良太郎

<分科会の開催日時・場所>

開催日時 2004年11月20日(土) 午後13:00~15:00

開催場所 ならまち振興館

奈良市井上町11番地 (電話:0742-27-1820)

<分科会の内容>

はじめに

なぜ今「JR 奈良駅舎」なの!?

駅舎保全のものがたり

「JR 奈良駅を生かす会」の人々の汗と涙の保全運動

近代遺産の重要性

奈良は京都とちがうんや

そもそも駅とは何ぞや

『駅憲章』の試み

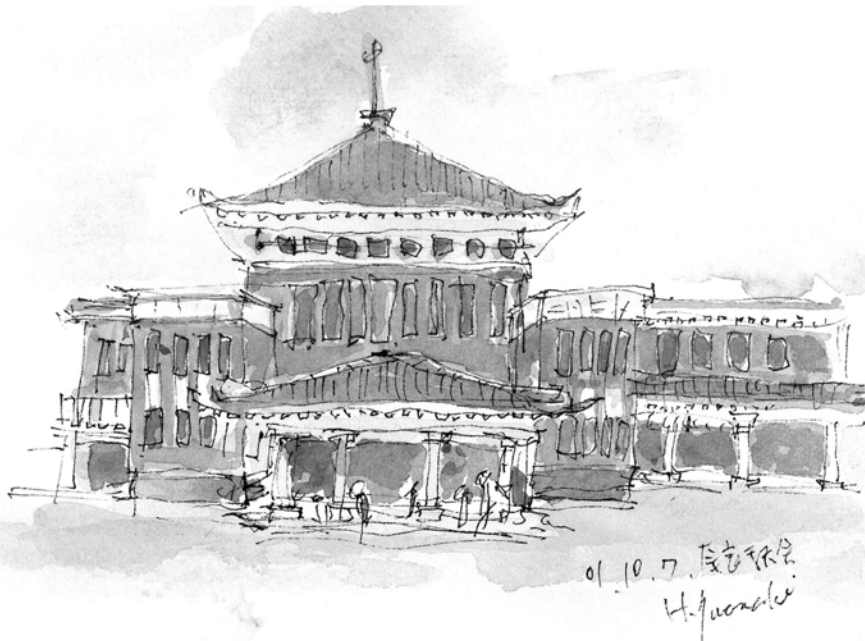
1. 駅は、人と街の結末点、舞台であり、人と街に調和し、刺激し合い、成長していかなければならない。
2. 駅は、街の玄関であり、核であり、シンボルである。
3. 駅は、来街者、身体的弱者をはじめすべての人にやさしい空間、雰囲気、まちの情報を提供しなければならない。
4. 駅は、鉄道の技術、文化と、路線の地域性を展示するものでなければならない。
5. 駅は、人と街に愛されるものでなければならない。また、人と街は駅を愛していかなければならない。

駅を再び都市、地域・まちの主演として、コミュニティの財産として位置
付けるために、われわれは何をしなければならないだろうか?

(みなさんのご意見をおきかせください。世界の駅舎の写真もお楽しみください。)

分科会 駅とまちづくり
(20日 13:00 ~ 於: ならまち振興館)

【世界の駅舎の紹介】



JR奈良駅 (画: 岩崎弘)

所在地 / 奈良県奈良市三条本町1番地

竣工 / 昭和9年(1934年)

設計: 大阪鉄道管理局工務課

主任技師: 柴田四郎

担当技師: 増田誠一

構造 / 鉄骨鉄筋コンクリート構造

規模: 地上2階、地下1階

建築面積 / 984.1 m²

延床面積 / 1,166.2 m²



ソウル駅 (画: 岩崎弘)

竣工 / 昭和元年9月(1925年)

規模: 地上2階、地下1階

ビザンチン風のドームをつけたルネッサンス様式。壁表面にレンガ模様のタイルを貼り、屋根は鉄骨造りに天然スレートと一部銅版である。設計は、当時東京大学の教授であった塚本靖と言われている。



コペンハーゲン駅 (画: 岩崎弘)

竣工 / 1911年

設計: Heinrich Wenck (ヘインリッヒ・ヴェンク)